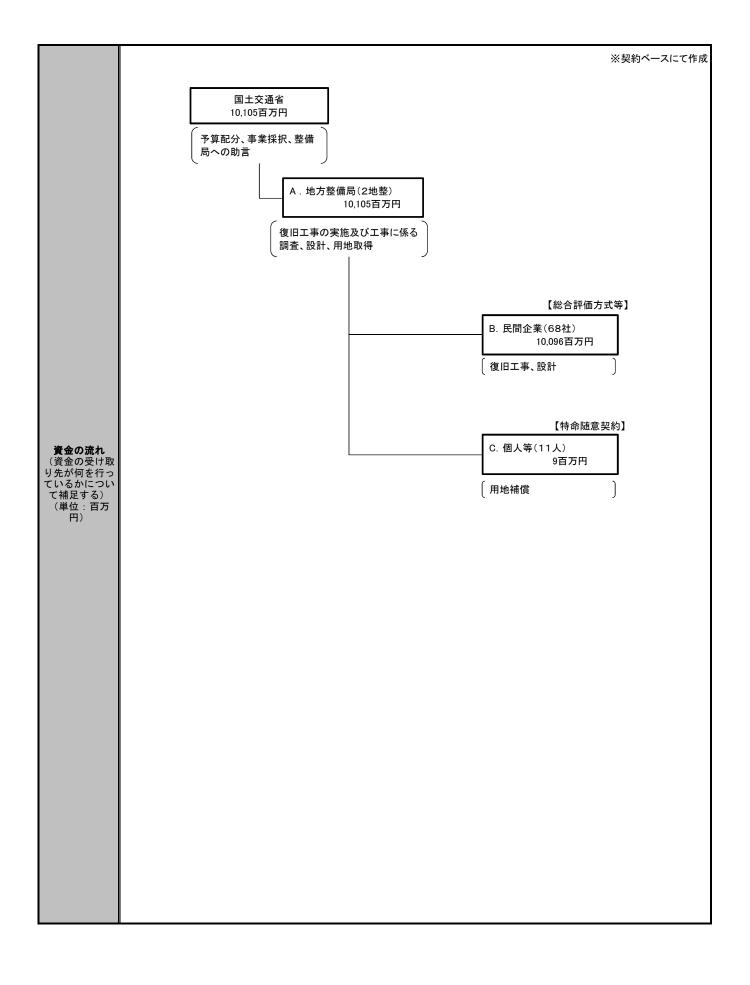
事業番号 492

				7	平成25年行	政事業レ	ヹュー	・シート	学术田		上交通	492	
事業名		道路災害復旧費(東日本大震災関連)					担当部局庁 道路局 作成責任者					者	
事業開始・ 終了(予定)年度		H23∼			担当	担当課室				課長 茅野 牧夫			
会計区分			一般	会計		政策・	施策名		-	-			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			-	-			関係する計画、通 知等 「東日本大震災からの復興の基本方針」 (平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部別					决定)	
(目指	業の目的 す姿を簡潔 行程度以内)	•東日本大震災	により生じた	直轄道	[路の被災個所に	ついて、早急に	復旧を	図り、安全で円滑な	は道路交通を確	保するこ	とを目	的とする	0
(5行	專業概要 程度以内。 削添可)							、応急復旧により! では、従前の効用を					
3	尾施方法	■直接実施	■委託・	請負	口補助	□負担		交付 口貸付	け □その	他			
			初予算 正予算		22年度	23年度 - 47,107		24年度 - -	3,71			26年度到6,640	_
	予算額· 執行額	の状	越し等			-20,208		18,229					
	4入1」設 位:百万円)		計			26,898		18,229	3,71	8		6,640)
		執行額			9,21			8,159					
		執行率(%)			34.2%	44.8%						<u> </u>	
			成果	指標			単位	22年度	23年度	24:	年度		標値 年度)
	目標及び成 果実績 'ウトカム)	東日本大震災による被害を受けた道路の			けた道路の復旧			-	-		_	<u> </u>	-
		No. 21 1 to 122				達成度	%	-	-		_		
活動指標及び活		活動指標					単位	22年度	23年度	24:	年度	25年度	活動見込
	動実績ウトプット)	ᆂᄆᅷᆠᆕᄣᇆᄔᄼᅓᄝᄼᅑᄔᄼᆇᄜᇝᄹᄠ				活動実績		-	-		-		-
(ア・ファンット)		東日本大震災による被害を受けた道路の復旧				(当初見込み)		-		(-	(.	-)
単	位当たり コスト	-				算出根拠			-				
平成25・26年度予	費目		25年度当初予算 26年度要求				主	な増減理由					
	東日本大震災	災害復旧等事業費	3,718		6,640								
年度予算内訳	計 3,718				6,640								

数性 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	ないのか。		事業所管部局による点検									
参奏 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 「使入 の	東日本大震災により生じた直轄道路の被災箇所について、早期に復旧を図り、安全で円滑な道路交通を確保することに寄与。							評価に関する説明				
性人の の	○ て、早期に復旧を図り、安全で円滑な道路交通を確保することに寄与。 ○ 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議。 市町村復興計画に基づく河川・都市施設等の関連計画の策定、地元協議等により、設計変更が生し時間を要する等したため不要が生した。 ○ 被災した道路の早期復旧を実施。 ○ ○ 被災した道路の早期復旧を実施。 ○ ○ おか。 - 省・部局名 古ることで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化に努める。 オの所見 本種達子一ムの所見	国必要	広く国民の)ニーズがある:	か。国費を投入しなければ事	業目的が達成できないのな	b'. O	 				
の 対象中性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	↑ 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議。 市町村復興計画に基づく河川・都市施設等の関連計画の策定、地元協議等により、設計変更が生し時間を要する等したため不要が生した。 はり効果的 が	要投	地方自治	体、民間等に委	ねることができない事業なの	0	て、早期に復旧を図り、安全で円滑な道路交通を確					
要素の	○ 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議。 市町村復興計画に基づく河川・都市施設等の関連計画の策定・地元協議等により、設計変更が生じ時間を要する等したため不要が生じた。 ○ 被災した道路の早期復旧を実施。 ○ ながられることで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化に努める。 **者の所見 *** *** ** ** ** ** ** ** **				標)の達成手段として位置付	€Ł 0	ることに奇与。					
# 位当たりコストの水準は妥当か。	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である人札監視委員会等により審議。 市町村復興計画に基づく河川・都市施設等の関連計画の策定、地元協議等により、設計変更が生じ時間を要する等したため不要が生じた。 ○ 被災した道路の早期復旧を実施。 ○ を を を を を を を を を		競争性が	確保されている	など支出先の選定は妥当か	0						
世位当たりコストの水準は妥当か。 単位当たりコストの水準は妥当か。 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	□ ある入札監視委員会等により審議。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		受益者との	D負担関係は妥	当であるか。	0	────────────────────────────────────					
関金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○ の策定、地元協議等により、設計変更が生じ時間を要する等したため不要が生じた。 ○ 被災した道路の早期復旧を実施。 ○ が 次した道路の早期復旧を実施。 ○ おか。 - 省・部局名 おることで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化に努める。 者の所見 **を選手を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		単位当たり	リコストの水準に	は妥当か。		0	ある入札監視委員会等により審議。				
性	○	効率	資金の流	れの中間段階で	での支出は合理的なものとな	っているか。	0	の策定、地元協議等により、設計変更が生じ時間を要				
事業表施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的	より効果的 ○ 被災した道路の早期復旧を実施。 ○ るか。 - 省・部局名 才ることで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化に努める。 者の所見 推進チームの所見 「各復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの	性	費目·使途	が事業目的に	即し真に必要なものに限定さ	れているか。	0	一つの寺したため个姿が生した。				
■ あるいは低コストで実施できているか。	○ 被災した道路の早期復旧を実施。 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		不用率が	大きい場合、そ	の理由は妥当か。(理由を右	に記載)	0					
古動実領は見込みに見合ったものであるか。	るか。											
性 登場された地域では来物は下別に活用されているか。	るか。	有	活動実績	は見込みに見る	合ったものであるか。		0	被災した道路の早期復旧を実施。				
② (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 事業番号 引き続き、過去の施工事例や新技術を活用するなどし、復旧工法を工夫することで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化 点検 結果 「行政事業レビュー推進チームの所見 「下政事業レビュー推進チームの所見 「政事業レビュー推進チームの所見 「政事業レビュー推進チームの所見 「政事業レビュー推進チームの所見 「政事業と対象を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、この改善を対象と対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「政事業に取組むこと。」 「政事業」の対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「政事業」の対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「政事業」の対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を対象を対象を活かし、コスト輸減等に取組むこと。」 「対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	者・部局名 することで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化に努める。 者の所見 推進チームの所見 る復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの 事業であれる。	効性	整備された	≿施設や成果物	は十分に活用されているか。	•	0					
横接 事業番号 類似事業名 所管府省・部局名 所管府省・部局名 別き続き、過去の施工事例や新技術を活用するなどし、復旧工法を工夫することで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化	することで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化に努める。 者の所見 を復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの を変求における反映状況	重				と割分担を行っているか。	_					
別き続き、過去の施工事例や新技術を活用するなどし、復旧工法を工夫することで、事業実施期間の短縮やコスト縮減など事業実施の効率化 「「「「「「「「」」」」」	者の所見 推進チームの所見 る復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの は算要求における反映状況 -	複	事業番号	-	類似事業名	所管府省•部局	高名					
外部有識者の所見 「行政事業レビュー推進チームの所見 事業 内 容 東日本大震災の被災地域の自治体と連携し、市町村が策定する復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、な 災害復旧の経験と知見を活かし、コスト縮減等に取組むこと。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	者の所見 推進チームの所見 る復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの は算要求における反映状況 -	除						_				
外部有識者の所見 「行政事業レビュー推進チームの所見 事業 内 容 東日本大震災の被災地域の自治体と連携し、市町村が策定する復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、な 災害復旧の経験と知見を活かし、コスト縮減等に取組むこと。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	者の所見 推進チームの所見 る復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの は算要求における反映状況 -		コキ結キ	過去の施工車	例わ新技術を活用するなど	右口丁注た丁土オス フレ	で 車業宝体	 期間の短続やコスト線域など事業実体の効率化に努め				
行政事業レビュー推進チームの所見 事業 内内 東日本大震災の被災地域の自治体と連携し、市町村が策定する復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、このの 災害復旧の経験と知見を活かし、コスト縮減等に取組むこと。 善善	推進チームの所見 る復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの な事変求における反映状況	点検結果	点 検 結 果									
事業 内内 東日本大震災の被災地域の自治体と連携し、市町村が策定する復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、この 災害復旧の経験と知見を活かし、コスト縮減等に取組むこと。 改 善善	る復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの 算要求における反映状況 -		 外部有識者の所見									
事業 内内 東日本大震災の被災地域の自治体と連携し、市町村が策定する復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、この 災害復旧の経験と知見を活かし、コスト縮減等に取組むこと。 改 善善	る復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、これまでの 算要求における反映状況 -	L	行政事業Ⅰ.ピュ <u>.</u>									
業 内 東日本大震災の被災地域の自治体と連携し、市町村が策定する復興計画等を踏まえた、手戻りのない災害復旧を図るとともに、こ 容 災害復旧の経験と知見を活かし、コスト縮減等に取組むこと。 改 養	算要求における反映状況 <u>-</u>											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	-		*									
	- 考											
	考		Ī									
_	考											
	考											
	考											
備考												
	- 2. 「の古世平日				関連	重する過去のレビューシ-	ートの事業番	· 号				
関連する過去のレビューシートの事業番号	1一ン一トの手来番号		平	成22年		平成23年		平成24年				
関連する渦夫のレビューシートの車業来早	フーンート(/) 事事番号		亚	成22年			・シデ末年					
		<u> </u>										



		A.東北地方整備局			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
		復旧工事の実施及び工事に係る調査、設計、用地取得	10,008			
	計		10,008	計		0
	н	B.大成建設(株) 東北支店	10,000	н	F.	0
	費 目	使 途	金 額	費 目	使 途	金 額
	其 口	復旧工事	(百万円) 556	貝 口	使 返	(百万円)
			330			
費目・使途 (「資金の流れ」に						
おいてブロックごとに最大の金額						
が支出されている						
者について記載する。費目と使途の双方で実情が						
分かるように記載)						
- 	計		556	計		0
		C.個人(イ)			G.	
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
		用地補償	5			
	計		5	<u></u> 計		0
		D.			H.	
	費 目	使途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
			(日万円)			(日力円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

 支出先
 業務概要
 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 1 東北地方整備局
 復旧工事の実施及び工事に係る調査、設計、用地補償
 10,008 -

 2 関東地方整備局
 復旧工事の実施及び工事に係る調査、設計
 97 -

 3

 4

 5

 6

 7

 8

 9

 10

В.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大成建設(株) 東北支店	復旧工事	556	1	91.6%
2	(株)ガイアートT・K 東北支店	復旧工事	533	2	90.4%
3	りんかい日産建設(株)東北土木支店	復旧工事	405	7	86.3%
4	山口建設(株)	復旧工事	351	4	91.6%
5	大成ロテック(株) 東北支社	復旧工事	351	12	88.4%
6	(株)小澤組	復旧工事	343	6	88.8%
7	(株)佐々木組	復旧工事	326	3	87.4%
8	鹿島道路(株) 北日本支店	復旧工事	321	12	87.1%
9	(株)佐藤渡辺 東北支店	復旧工事	299	12	87.5%
10	(株)佐藤渡辺 東北支店	復旧工事	291	4	93.6%

C.

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人(イ)	用地補償	5	随意契約	100.0%
2	個人(口)	用地補償	3	随意契約	100.0%
3	個人(ハ)	用地補償	0.3	随意契約	100.0%
4	個人(二)	用地補償	0.3	随意契約	100.0%
5	個人(木)	用地補償	0.1	随意契約	100.0%
6	個人(へ)	用地補償	0.03	随意契約	100.0%
7	個人(h)	用地補償	0.02	随意契約	100.0%
8	個人(チ)	用地補償	0.02	随意契約	100.0%
9	個人(リ)	用地補償	0.02	随意契約	100.0%
10	個人(ヌ)	用地補償	0.008	随意契約	100.0%